

液状化危険度マップ

液状化危険度マップについて

この液状化危険度マップは、それぞれの地域の地形・地盤の特性を考慮して、揺れやすさマップに示した揺れの大きさに基づいた液状化の危険度を評価し、取りまとめたものです。

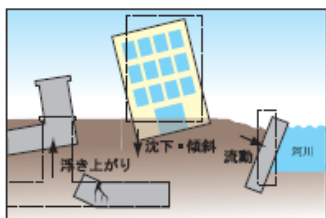
なお、このマップで表示した液状化危険度は、得られた地盤情報に基づく予測値であり、実際には局所的な人工造成地などで発生することもあるため、液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。



凡例

	液状化危険度が極めて高い。
	液状化危険度が高い。
	液状化危険度は低い。
	液状化危険度はかなり低い。

解説



地下水位が高く、ゆるい砂からできた地盤に、地震による強い揺れが加わると、液状化現象が発生する可能性が高くなります。

地盤が液状になるため、地盤が重い建物等を支えることができなくなり、建物等の沈下や傾斜が起きたり、地中の軽い管路や地下タンク等は浮き上がったりします。この他、河川の護岸近傍や緩い傾斜地において、場合によっては数メートルにわたって流動することもあります。

そのため、ライフライン（電気、ガス、上下水道）や道路等も液状化による被害を受けることが少なくありません。北本市の、危険度の高い地域は限られていますが、ライフラインの被害は、広域的に影響が波及することも多分に考えられます。

非常持ち出し品、非常備蓄品の中に、ライフラインの代用品も忘れず準備しておきましょう。

記号

	北本市役所
	北本県土整備事務所
	消防署
	交番
	救急指定病院
	広域避難所
	緊急輸送道路
	市境

